

第2期伊豆の国市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI) 進捗管理調査シート(令和6年度)

基本目標	重要業績評価指標 (KPI)	出典根拠	現状 (基準) 値		R2実績	評価 区分	R3実績	評価 区分	R4実績	評価 区分	R5実績	評価 区分	R6実績	評価 区分	R7実績 (目標値)	目標設定の考え方(根拠)	担当課
			H26など	H30													
【基本目標1】 伊豆の国市にしごとをつくる	① 市内製造業の製造品出荷額	総務省「経済センサスー基礎調査」 RESAS	107,665	120,504	148,261	A	137,423	A	137,423	A	130,772	B	157,232	A	134,600	市の主要産業の1つである「製造業」の出荷額等は、年々増加傾向にあり新たな企業の進出も見込めるため、平成28年度を基準として令和7年度までに概ね10%の増加を目標値とする。	商工課
			【単位:百万円】	(目標値)	124,600		126,600		130,600								
	② 市内小売業の小売販売額	総務省「経済センサスー基礎調査」 RESAS	41,278	43,543	43543	D	43543	D	50,084	A	50,084	A	50,084	A	46,175	市の主要産業の1つである「小売業」の販売額等は、年々増加傾向にあるため、平成28年度を基準として令和7年度までに概ね5%の増加を目標値とする。	商工課
			【単位:百万円】	(目標値)	44,300		44,675		45,050		45,425		45,800				
	③ 市内農家の農業産出額	総務省「経済センサスー基礎調査」 RESAS	3,650	3,990	4,430	A	4,430	A	4,320	A	4,320	A	4,860	A	4,235	市の主要産業の1つである「農業」の農業産出額等は、年々増加傾向にあるため、平成29年度を基準として令和7年度までに概ね5%の増加を目標値とする。	農林課
【単位:百万円】			(目標値)	4,060	4,095		4,130		4,165		4,200						
④ 企業立地補助金を活用した企業数	補助金実績	0	1	1	B	1	B	1	C	1	C	1	C	3	江間工業団地等の開発により新たな企業の進出を見込み、設定する全区画への参画を目標とする	商工課	
		【単位:件/累計】	(目標値)	1		1		2		2		3					
⑤ 創業塾を受けて起業した件数	市政報告書	6	8	12	B	24	B	39	A	50	A	66	A	60	創業塾は平成29年度から事業開始。受講済者のうち、平均7人が起業をしているため、年間8件を目標として令和6年度までの5年間で40件を目標とする。(補助金活用の有無は問わない。また、市内に事業所を構えた者を対象とする。)	商工課	
		【単位:件/累計】	(目標値)	8		16		24		32		40					
【基本目標2】 伊豆の国市に新しいひとの流 れをつくる	① 観光交流客数	観光基本計画アクションプラン／市政 報告書	224	211	92	D	121	D	187	D	163	D	157	D	217	平成26年度から平成30年度まで減少傾向にあるが、令和元年度実績で年間211万人を見込み、取組強化により前年度比1万人の増加を目標値とする。	観光文化課
			【単位:万人】	(目標値)	212		213		214		215		216				
	② 道の駅の来場者数	来場者実績	－	21	43	A	80	A	89	A	95	A	102	A	80	平成30年11月にリニューアルオープン。官民連携で広く周知し、来場を促進している。いちごファクトリーと村の駅の来場者数を令和元年度実績で年間35万人を見込み、前年度比1万人の増加を目標とする。	観光文化課
			【単位:万人】	(目標値)	36		37		38		39		40				
	③ レンタサイクルの利用者数	利用者実績	2,176	820	2,445	A	1,871	A	7,143	A	7,067	A	13,472	A	7,558	市内サイクルスポット等からレンタルした利用者数。平成29年から現在の体制で事業をスタート。令和元年度実績で年間800人を見込み、前年度比100人の増加を目標とする。	観光文化課
【単位:人】			(目標値)	900	1,000		1,100		1,200		1,300						
④ スポーツイベントの参加者数	参加者実績	3,436	3,626	1,475	D	849	D	1,146	D	1,843	D	2,056	D	3,900	市内のみならず市外からの参加するスポーツイベント(元旦マラソンやノルディックウォーキングなど)を対象。平成30年度実績から年50人増を目標とする。	生涯学習課	
		【単位:人】	(目標値)	3,700		3,750		3,800		3,850		3,900					
⑤ 移住相談等を通じた移住者数	移住者実績	5	13	27	B	47	A	73	A	39	B	42	B	45	出張移住相談や全国の移住フェア、移住体験ツアー等を通じて移住した人数。前年度比で5人増を目指す。	企画課	
		【単位:人】	(目標値)	20		25		30		35		40					
【基本目標3】 若い世代の結婚・出産・子育て の希望をかなえる	① 婚姻届出数	市政報告書	511	473	430	D	838	D	1,283	D	1,678	D	2,125	D	2,299	本市人口ビジョンで設定した将来展望の人口減少率を用い、将来の婚姻届出推計値を算出。取組の強化により算出した推計値を上回る数を目標に設定する。	市民課
			【単位:件/累計】	(目標値)	471		936		1,396		1,850		2,299				
	② 出生数	伊豆の国市統計書	312	268	234	D	477	D	699	D	898	D	1,079	D	1,302	本市人口ビジョンで設定した将来展望の人口減少率を用い、将来の出生推計値を算出。取組の強化により算出した推計値を上回る数を目標に設定する。	市民課
			【単位:人/累 計】	(目標値)	267		530		791		1,048		1,302				
	③ 保育園待機児童数 (4月1日時点)	待機児童に関する調査	0	0	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	毎年4月1日時点で、保育園の待機児童数0人の維持を目標とする。(総合計画の算出基準に統一する)	幼児教育課
【単位:人】			(目標値)	0	0		0		0		0						
④ ファミリーサポートセンター事業利用者 数	第2次子ども・子育て支援事業計画／ 第3次次世代育成支援行動計画	86	460	330	D	313	D	186	D	219	D	327	D	239	平成27年度から平成30年度まで着実に増加している。子育てをお手伝いしたい人(任せて会員)の確保に努めつつ、第2次子ども・子育て支援事業計画及び第3次次世代育成支援行動計画に基づいた人数を目標とする。	こども家庭 センター	
		【単位:人】	(目標値)	381		455		528		602		675					
⑤ 伊豆の国子育てモバイル登録者数(3月 末時点)	保健事業報告	18.8	47.4	57.4	A	60.1	A	69.4	A	79.2	A	85.0	A	80.0	平成26年度から着実に増加していた登録者数も、現在は横ばい傾向にあり、今後、大幅な増加を見込むことは難しいことから、令和6年度まで前年度比1%の増加を目指す。	健康づくり課	
		【単位:％】	(目標値)	49.0		50.0		51.0		52.0		53.0					
【基本目標4】 時代に合った住みよいまちをつ くる	① お達者度(男性)	静岡県公表	17.27	17.74	17.88	C	17.97	C	18.38	A	18.37	A	18.37	A	79.90	平成26年度から平成30年度までに約0.5の延伸傾向にあるが、平成29年度は18.15と数値に増減があるため、毎年18.00を維持することを目標とする。	長寿介護課
			【単位:年】	(目標値)	18.00		18.00		18.00		18.00		18.00				
	② お達者度(女性)	静岡県公表	21.20	21.46	21.46	B	21.66	C	21.76	C	21.44	C	21.44	C	84.30	平成26年度から平成30年度までに約0.3の延伸傾向にあるが、平成28年度は24.45と数値に増減があるため、毎年22.00を維持することを目標とする。	長寿介護課
			【単位:年】	(目標値)	22.00		22.00		22.00		22.00		22.00				
	③ 生涯学習きっかけづくり塾参加者数	参加者実績	3,360	4,917	0	D	2,543	D	1,372	D	1,601	D	2,720	D	5,000	平成26年度から平成30年度まで増加傾向にあるが、定員数や各塾の実施回数に上限があることから毎年5,000人を維持することを目標とする。	生涯学習課
【単位:人】			(目標値)	5,000	5,000		5,000		5,000		5,000						
④ 「防災対策」の市民満足度	市政世論意識調査	－	25.1	25.1	D	25.1	D	25.1	D	25.1	D	25.1	D	－	全世代を対象とした意識調査において、「防災分野」における市民の満足度を図る。令和2年4月に実施する調査の結果を基準値として、令和6年度までに基準値＋5%の増加を目標値とする。	危機管理課	
		【単位:％】	(目標値)	基準値+1		基準値+2		基準値+3		基準値+4		基準値+5					
⑤ 「防犯対策」の市民満足度	市政世論意識調査	－	19.3	19.3	D	19.3	D	19.3	D	19.3	D	19.3	D	－	全世代を対象とした意識調査において、「防犯分野」における市民の満足度を図る。令和2年4月に実施する調査の結果を基準値として、令和6年度までに基準値＋5%の増加を目標値とする。	危機管理課	
		【単位:％】	(目標値)	基準値+1		基準値+2		基準値+3		基準値+4		基準値+5					

【KPIごとの評価区分について】

区分	基準の内容
A	「実績」が「R6年度目標値」以上のもの
B	「実績」が「評価年度目標値」以上「R6年度目標値」未満のもの
C	「実績」が「基準値」を超え「評価年度目標値」未満のもの
D	「実績」が「基準値」以下のもの
－	統計値が発表前または当該年度に調査がなかったものなど

【実績及び評価区分における下線箇所について】

評価時点において、指標が未公表であるため、直近の数値を用いてみなし評価を行った箇所